Let's try!

ステキな歯科医院にするために

“5S”を実践すると…?

歯科医院をスッキリ・気持ちよく保つためのキーワード「5S」を一丸となって実践されている、宝塚市・やまだ歯科医院さんの「5S効果」をご紹介します!

整理・整頓

整理=キレイにすることではなく、ルールに則って捨てること。
整頓=ほしいものをすぐ取り出せるように並べて見えるようにすること。

5Sを実践する為に医院を改装! 収納をコンパクトにして動線も改善。現場の意見が設計に採用されました。

受付 杉田さん

当時新人だった私が、改装に意見を求められたときは驚きましたが、「新人の目線は患者さんに近い」と聞き納得。毎日みんなと改善点を考えメモし、設計士さんへ伝え、理想の受付が実現しました。

まわれ右して使うPC。カルテはすぐに取り出しにくい状態。

専用のカルテ棚を作り、見た目にもスッキリ。PCは正面に移動。患者さんとのコミュニケーションもスムーズに。

清掃・清潔

清掃=気づいたときにサッとおそうじ。ついでに点検も!
清潔=消毒・滅菌されていて、心まですがすがしい状態。

汚れがちな場所ほど、こまめに掃除する。
大切なのは、「キレイの連鎖反応」を起こす心がけ。

歯科衛生士 森さん

一カ所キレイになると、連鎖反応でまわりもどんどんキレイになります。私一人ではできないことも、マニュアルを作り、みんなと声をかけ合うことで、少しずつ実践できるようになりました。

バックヤードや水回りはどうしても汚れがち。

バラバラだった周囲の機材は置き場所が決まり、掃除しやすい空間になりました。

しつけ

しつけ=当たり前のことを当然に行い、できないことを恥と思うことが大切。

お互いに声をかけあい実践する。スタッフ全員がしつけの主役。

院長 山田先生

例えば朝の服装チェックも、誰かがするのではなく、スタッフ全員が二人一組で行います。現場で実際に働いているのは衛生士さんですから、僕が自主性を奪ってしまわないよう心がけています。

小原先生とスタッフ全員でテーブルを囲むミーティング風景。ここでも特定の人が中心になるのではなく、「出された意見は否定しない」「前向きな意見を出す」等、一定のルールを決めて、誰もが発言しやすい空気が作られています。

まとめ

身近なお仕事の先に、何が見えますか?
大切なのはみなさんの「志」。

5Sの道のりは長く、改善にゴールはありません。
けれど、どんな小さなお仕事でも大切に
取り組めば、あなたの歯科医院、そして地域や
社会を良くすることにも、きっと繋がります。

小原 啓子先生 著

「歯科医院の活性化
仕事の視える化
シリーズ Part2
5Sで仕事の視える化」
医歯薬出版株式会社